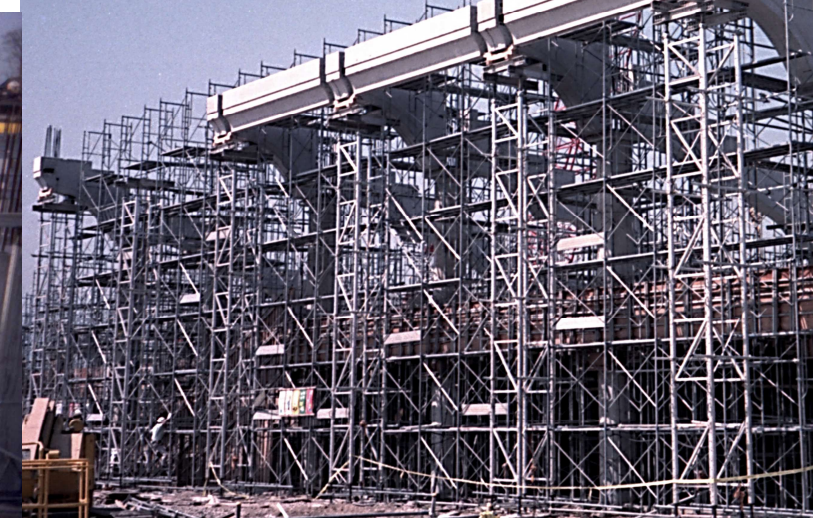


	単独柱方式	ベタ支柱方式	枠組方式(フレーム)
支柱間隔		3.5m以下	
支柱高さ	3.5m未満 (支柱の継ぎ足し不可)	9.5m以下	短辺の支柱間隔の22倍 (max50m)
スクリージャッキ	上下同時使用不可	上下同時使用可	上下同時使用可
スライドパイプ	(原則)使用せず 使用の場合は許容値を低減	1支柱当り1本使用可	1支柱当り2本使用可
スライドパイプ	上部・下部	リング無し 1185mm以下	リング無し 1185mm以下
	中間部	不可	リング付 945mm以下
	重なり長	240mm以上	240mm以上
水平つなぎ (3.5m以上に必要)	不要	上下端及び高さ2mごと	スライドパイプ位置にX、Y方向 設けない場合は許容荷重を低減
変位防止	・水平変位を拘束された物を 支持する	・単管、クランプで斜材を設ける (約45°) ・水平つなぎの端部を堅固な 構造物に固定する。	・ブレース、フレーム斜材・水平 材で負担する。
転倒防止			支保工の高さが、フレーム幅、 又はブレーススパンの5倍を 超える場合 ・5段以下毎にX、Y方向に水平 つなぎを設ける。 ・水平つなぎ位置には水平 ブレースを設ける。
その他	支柱の接続		スライドパイプとジョイントピン を使用し、松葉ピンで抜け止 めをする。
	ベースプレート	支柱下部にスクリージャッキを使用しない場合、支柱にベースプレートを専用ボルトで取付け	
	スクリージャッキ	支柱の上下端に使用し、レベル調整、荷重の除荷に使用する。 スクリージャッキにはベースプレート、大引受け等を専用ボルトで取付ける。	
	スライドパイプ	上下端には「リング無し」、中間には「リング付き」を使用する。 ジョイントピンで固定し、松葉ピンで抜け止めをする。	
	ベアリングキャップ	支柱にスクリージャッキを差し込む場合には使用する。	
	ビームの固定	ビームと大引受、ビーム同士はアルマボルト及びジョーズクランプで固定する。 1ヶ所当り2個使用する。	
	HSクランプ スタンド	規定なし 規定なし	



①スライドパイプ無し

	単独柱方式	ベタ支柱方式	枠組方式(フレーム)
	水平つなぎ 無	水平つなぎ 有	水平つなぎ 無
	(アルマビーム) 36.3 kN/支柱	63.8 kN/支柱	63.8 kN/支柱
	(ストリンガー) 54.0 kN/支柱 (ベースプレート) 54.0 kN/支柱		

②スライドパイプ使用

使用位置	スライドパイプ長	単独柱方式	ベタ支柱方式	枠組方式(フレーム)
上端に使用	582mm以下	水平つなぎ 無	水平つなぎ 有	水平つなぎ 有
		(アルマビーム) 26.5 kN/支柱 (ストリンガー) 36.3 kN/支柱 (ベースプレート) 54.0 kN/支柱	43.2 kN/支柱	43.2 kN/支柱
上端に使用	1035mm以下 (単独 735mm以下)	水平つなぎ 無	水平つなぎ 有	水平つなぎ 有
		(アルマビーム) 25.5 kN/支柱 (ストリンガー) 34.3 kN/支柱 (ベースプレート) 54.0 kN/支柱	37.3 kN/支柱	37.3 kN/支柱
中間に使用	945mm以下	使用不可	水平つなぎ 有	水平つなぎ 有
下端に使用	1035mm以下	使用不可	50.1 kN/支柱	50.1 kN/支柱
			水平つなぎ 有	水平つなぎ 無
			46.1 kN/支柱	46.1 kN/支柱

フレームの水平抵抗力

(フレームの斜材、水平材) (最大荷重) 28.5 kN/1構面 (許容荷重) 11.8 kN/1構面

クロスブレースの水平抵抗力

(2130mmスパン) (最大荷重) 11.3 kN/1構面 (許容荷重) 5.40 kN/1構面  
(3050mmスパン) (最大荷重) 10.0 kN/1構面 (許容荷重) 5.01 kN/1構面